

2021年3月期 2Q決算説明会

2020年11月24日

株式会社ウィルグループ（東証一部 6089）

代表取締役社長 大原 茂



I. 2021年3月期 2Q決算概要

II. 2021年3月期 業績予想/配当予想

*本資料に記載の「売上」は、日本基準の「売上高」、IFRSの「売上収益」
「自己資本比率は」、日本基準の「自己資本比率」、IFRSの「親会社所有者帰属持分比率」

I .2021年3月期 2Q決算概要

1 事業へのコロナ影響は収束に向かう

2 3Q以降は採用等の投資再開

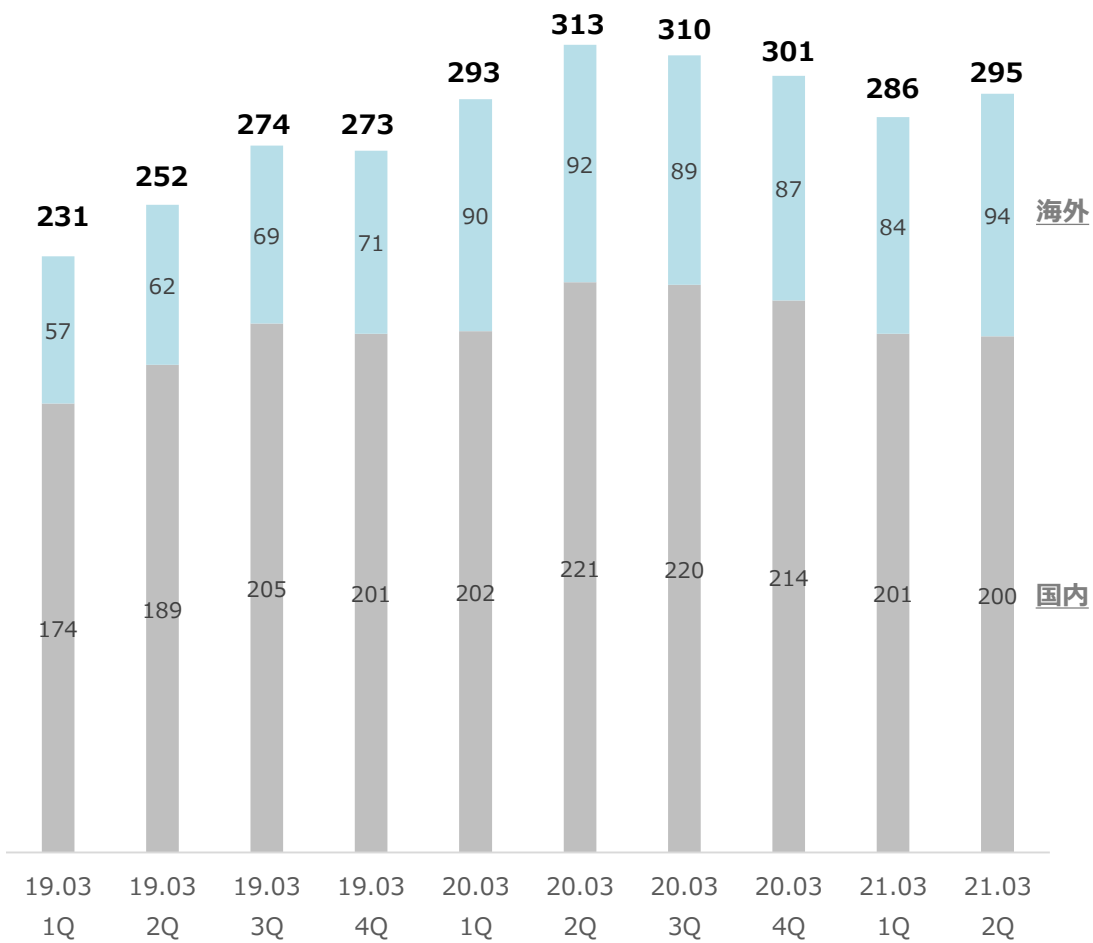
3 財務指標改善傾向

国内は販売支援・工場系領域で、海外は人材紹介が、 新型コロナウイルス感染症拡大の影響あるも、 それ以外の領域は堅調に推移

(億円)	前期実績	業績予想 (9/18公表)	実績	前年同期比		業績予想比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上収益	607.3	570.0	581.7	△25.5	△4.2%	+11.7	+2.1%
売上総利益 (売上総利益率)	127.1 (20.9%)	-	119.2 (20.5%)	△7.9 (△0.4pt)	△6.2%	-	-
営業利益 (営業利益率)	21.7 (3.6%)	17.0 (3.0%)	22.2 (3.8%)	+0.4 (+0.2pt)	+2.3%	+5.2 (+0.8pt)	+30.7%
税引前四半期利益	21.4	17.0	20.8	△0.5	△2.8%	+3.8	+22.7%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	12.4	10.0	13.0	+0.6	+5.1%	+3.0	+30.5%
EBITDA (営業利益+減価償却費及 び償却費)	30.8	-	32.6	+1.7	+5.8%	-	-

従業員数：4,762人
(前年度末比：+274人)

(億円)

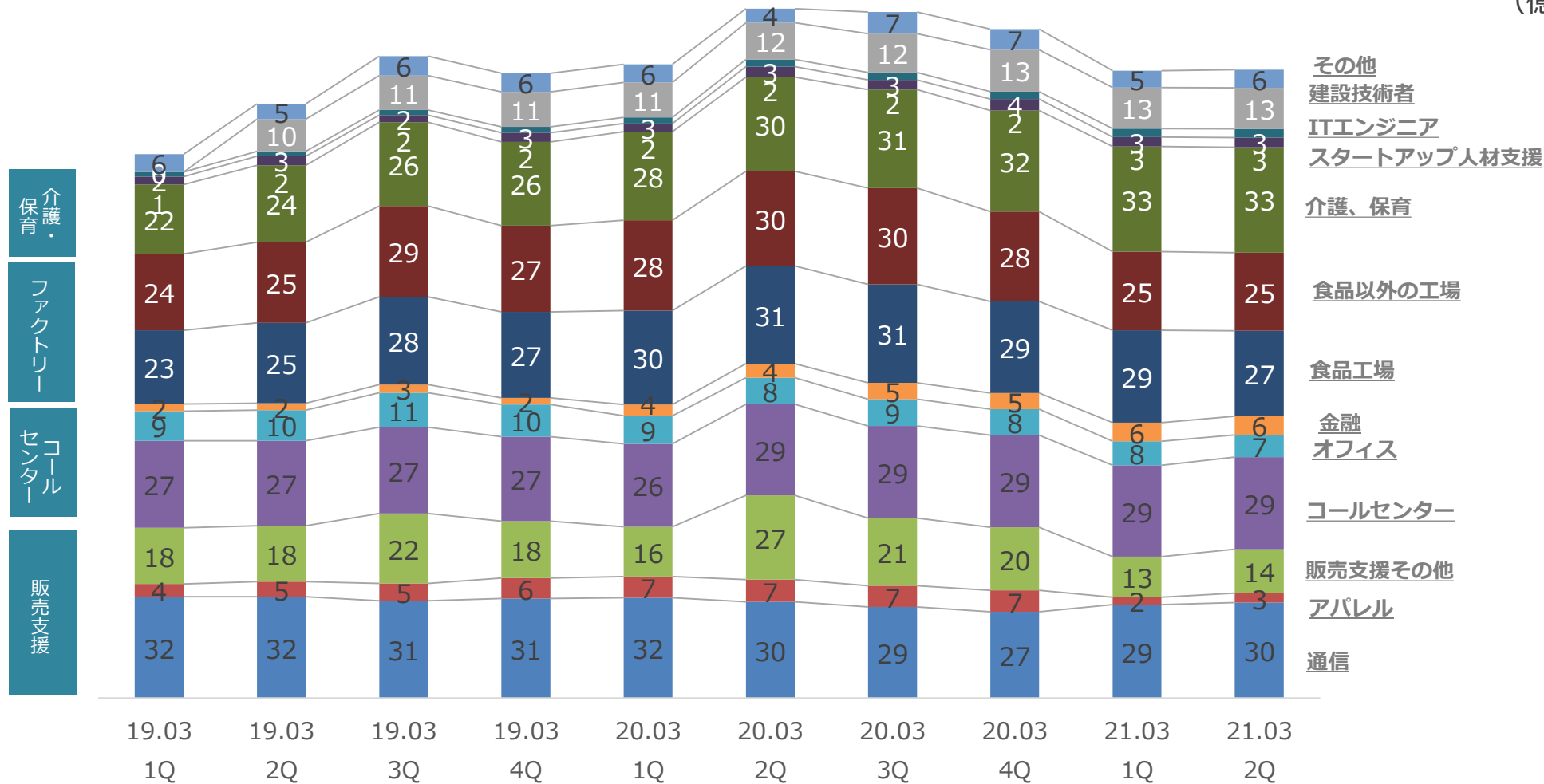


21.3期 2Qは 1Q比 : +9億円

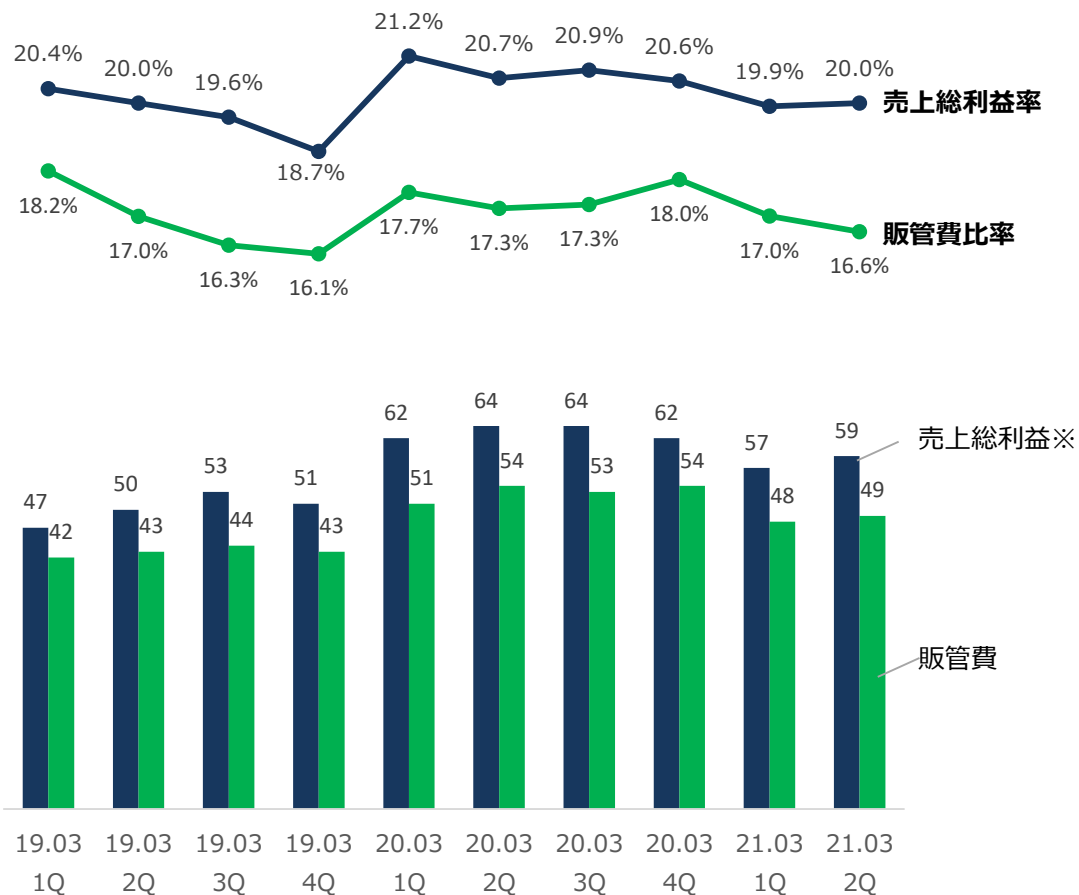
→事業へのコロナ影響
は収束に向かっている

新型コロナウイルス感染拡大による業績影響のある分野は、アパレル、販売支援その他、食品以外の工場分野

(億円)



(億円)



※21.03期1Q、2Qの売上総利益は、補助金収入の影響を除いた調整後の売上総利益

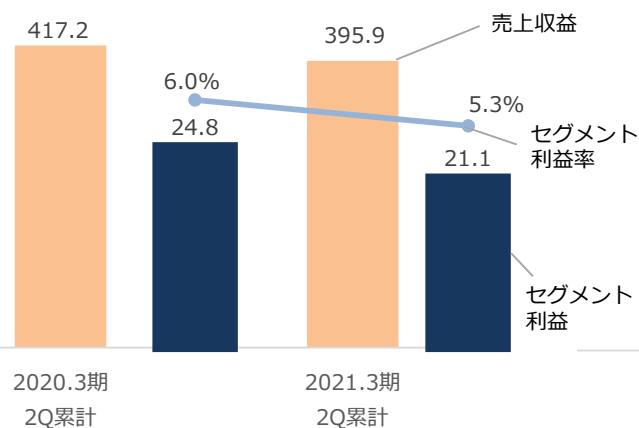
売上総利益率は改善傾向

→機動的にコストをコントロールし、利益を確保

-販管費の抑制内容-

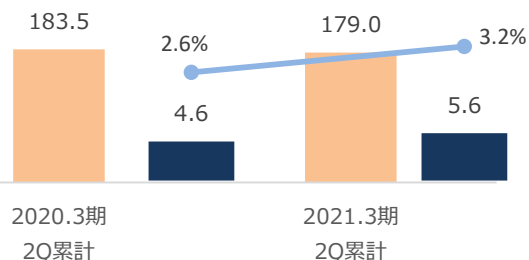
・求人数の減少による、スタッフ採用費の抑制等：△5.4億

国内WORK事業



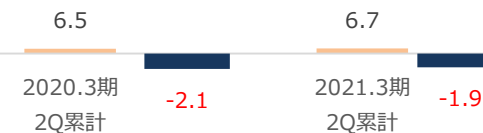
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、セールスアウトソーシング領域（アパレル・セールスプロモーション）、ファクトリー領域（食品以外）が減収。それ以外の分野は、堅調に推移

海外WORK事業



新型コロナウイルス感染症拡大の中でも、政府系、エンジニア、ファイナンス、リーガル等の人材派遣は安定して推移したものの、オーストラリア、シンガポールの景気減速、企業活動の停滞により、人材紹介の需要低下

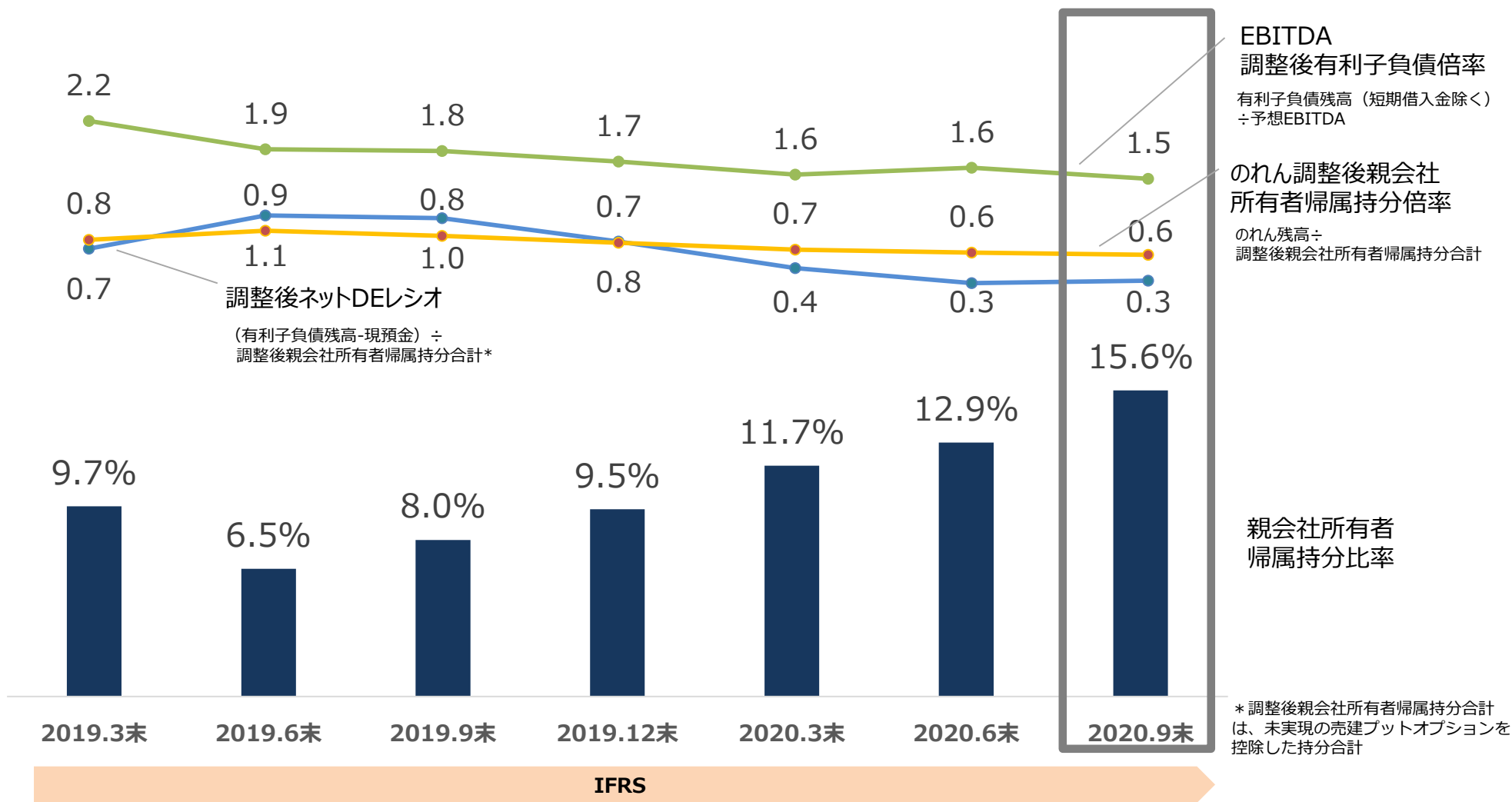
その他※



HRTech領域(ビザ管理、スキマ時間バイト紹介)への先行投資を継続して実施

※その他で計上している販売用不動産の売却、ファンド株式売却益の計8.1億はIFRS調整で相殺しています。そのため、その影響を控除した数値で記載しています。

各財務指標は、利益の積上げにより改善傾向



Ⅱ.2021年3月期 連結業績予想/配当予想

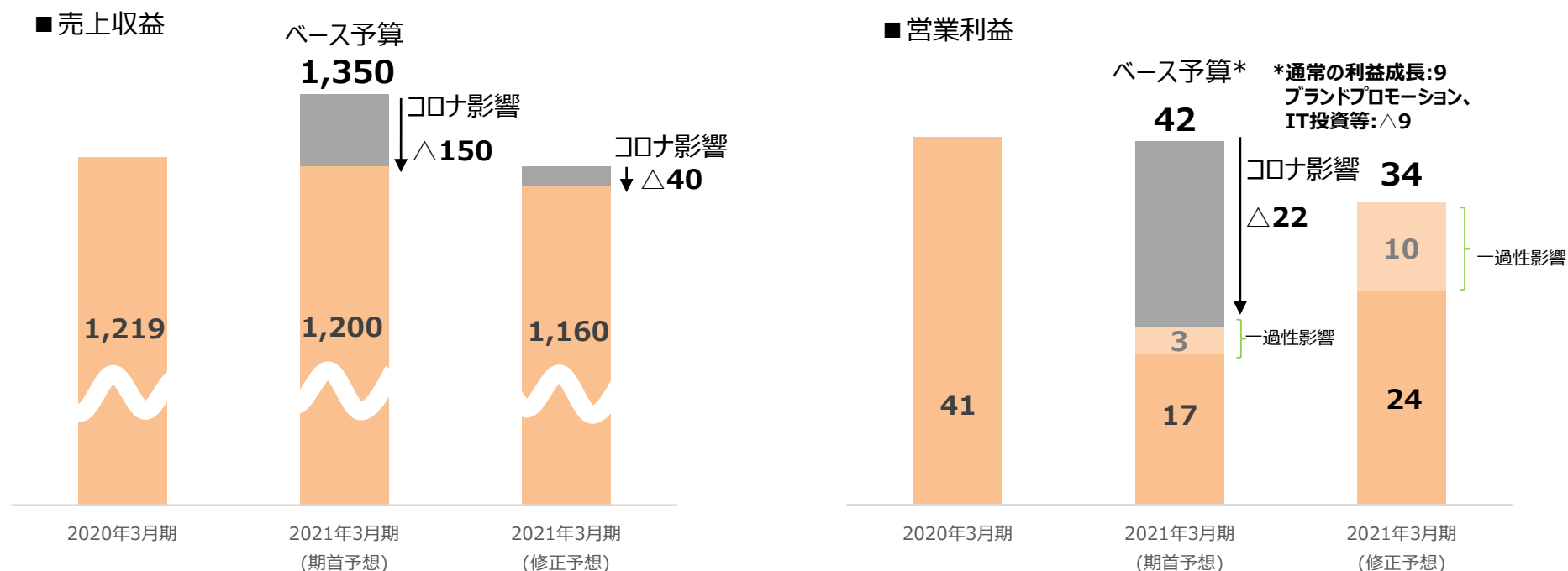
3Q以降は抑制していた投資を実施する計画であるも、2Q累計での業績上振れ分を修正

(億円)	前期実績	①前回予想 (9/18公表)	②修正予想 (11/9公表)	差異 (②-①)
売上収益	1,219.1	1,150.0	1,160.0	+10.0
うち国内WORK事業	844.3	800.4	806.1	+5.7
うち海外WORK事業	360.7	338.6	340.5	+1.9
うちその他	15.4	15.8	21.5	+5.7
うちIFRS調整	△1.4	△4.9	△8.1	△3.2
営業利益 (営業利益率)	41.4 (3.4%)	30.0 (2.6%)	34.0 (2.9%)	+4.0 (+0.3pt)
うち国内WORK事業	50.6	42.6	42.5	△0.0
うち海外WORK事業*	9.7	8.8	8.8	0.0
うちその他	△3.5	△4.1	△1.3	+2.5
うち調整額	△18.6	△23.5	△23.6	△0.1
うちIFRS調整*	3.3	5.9	7.6	+1.6
親会社の所有者に帰属する当期利益	23.8	15.5	17.5	+2.0
EBITDA	61.3	50.0	54.0	+4.0

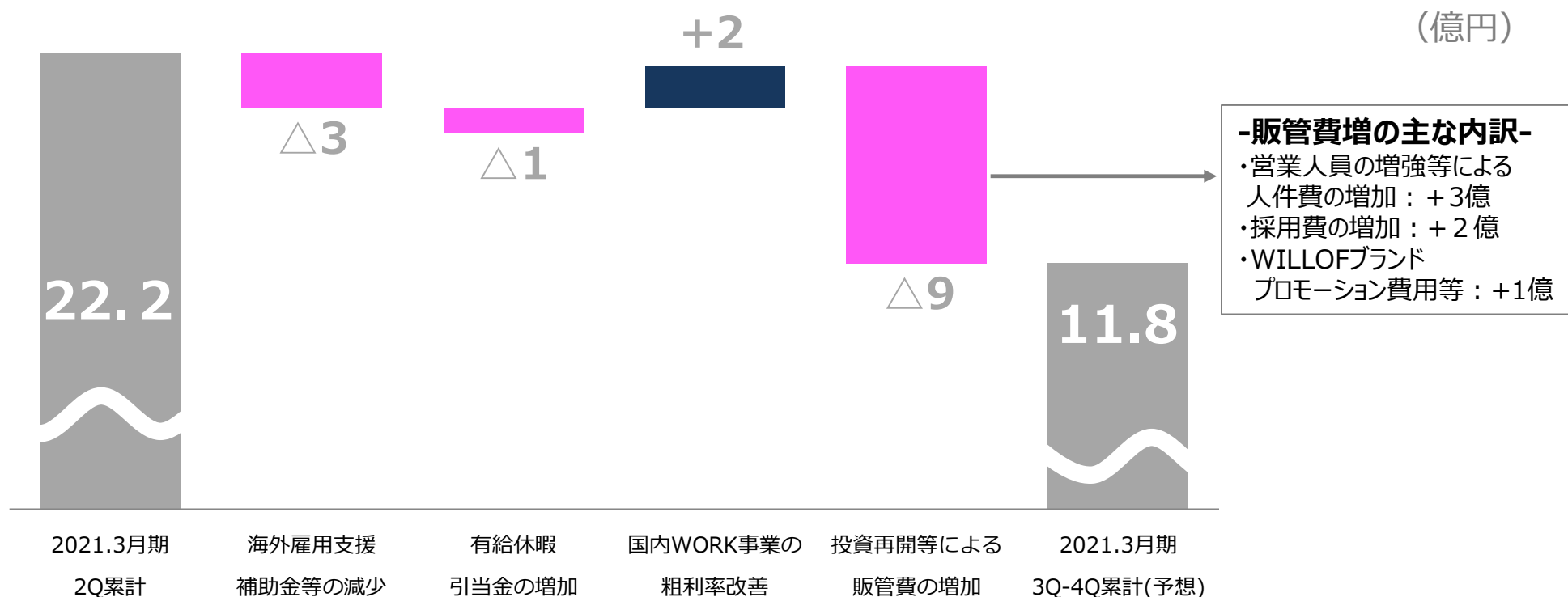
- 期首予想では、売上は4Qで正常化見込むも、新規オーダーが低調のため正常化は来年度の見通し。そのため、期首予想に対して売上は減少するも、営業利益は増加の見通し。
- 2Qまでは投資を抑制してきたが、3Q以降は投資を再開。

→新型コロナウイルス感染症再拡大懸念等、状況を慎重に見極めながら機動的に対応

■ 期首予想と修正予想の比較(単位：億円)



来年度以降に向けた投資として、下期の販管費は、
上期と比較して+9億円の見通し







3Q以降はいずれの領域もオーダー獲得強化

(億円)

セグメント	領域	2020.3月期	2021.3月期 (予想)	増減率	今後の見通しと方針
		上段：売上	上段：売上	上段：売上	
		下段：営業利益	下段：営業利益	下段：営業利益	
国内WORK 事業	販売支援領域	231.4	190.0	△18%	セールスプロモーションは下期も苦戦の見通しであるも、アパレルは1Qで底打ち。安定している通信、営業代行等のサービス強化。
		17.9	13.7	△23%	
	コールセンター領域	164.5	166.9	+1%	安定した需要はあるため、新規受注の営業強化。
		9.9	11.2	+13%	
	ファクトリー領域	237.4	210.0	△12%	安定した食品領域の営業強化。入国規制緩和後に備え、技能実習生、特定技能等の外国人案件の営業強化。
		13.4	9.4	△30%	
	介護/保育領域	120.5	136.6	+13%	派遣については、新規営業を強化。また、需要の強い人材紹介強化に向け、営業人員増強。
		3.6	5.8	+63%	
	スタートアップ人材 支援領域	12.6	11.7	△7%	コロナ禍でも需要が強い経営幹部層、エンジニア等の支援強化。また、アフターコロナを見据えて、営業人員増強。
		3.0	0.7	△77%	
その他	77.2	90.8	+18%	建設技術者派遣は需要堅調のため、未経験者の派遣拡大に向け、採用活動、受注営業強化。ALT派遣、エンジニア派遣は順調。	
	2.5	1.6	△35%		
海外WORK 事業	シンガポール他 オーストラリア	360.7	340.5	△6%	景気減速により、人材紹介はオーダー減少するも、徐々に回復の見通し。人材派遣については堅調に推移しており、人材派遣拡大にシフト。
		9.7	8.8	△9%	

新型コロナウイルス感染症の拡大影響はあるものの、影響は一時的であり、現時点で減損リスクはない見通し

(億円)

	主要拠点	事業内容	連結開始 (株式保有率)	投資残高 *1	*2	2020.3期 2Q累計	2021.3期 2Q累計	前期比
 ウイルオブ・コンストラクション	首都圏、東北	東北地方を中心に建設技術者派遣・紹介を展開。経験・スキルの高い施工管理技士が多数在籍しており、特に建築土木の大型工事の技術者派遣において優位性を持つ	2018/6 (100%)	27.2	売上	22.5	25.9	+15.1%
					利益 *3	1.2	1.2	+1.2%
	シンガポール	シンガポールを中心に、香港、日本、米国、中国、オーストラリア及び英国の各国の完全子会社を通じて、HR領域に特化した人材紹介、コンサルティング事業を展開	2019/1 (51%)	14.6	売上	6.8	4.9	△28.1%
					利益 *3	2.0	1.3	△36.9%
	ブリスベン	オーストラリアにおいて、政府機関及び大手企業に対して人材紹介及び人材派遣を展開	2019/4 (80%)	14.7	売上	30.9	29.9	△3.4%
					利益	2.8	3.0	+7.0%
	メルボルン	オーストラリアにおいて、政府機関、通信企業、エネルギー企業、電化製品製造業等、様々な業界の機関・企業に対し、事務職、コールセンター関連職の人材紹介及び人材派遣を展開	2018/1 (80%)	8.4	売上	58.1	63.8	+9.8%
					利益	1.7	1.9	+9.5%

*1 投資残高は、のれん残高と識別可能な無形資産残高の合計です。

*2 連結開始時期を問わず、売上、利益の実績については連結会計期間の4月-9月の実績を記しています。

また、為替影響を除くため、1シンガポールドル=75円、1オーストラリアドル=70円で換算しています。

*3 利益については、識別可能な無形資産の償却額、内部取引、一時的に発生した費用を除いた税引前利益です。

**総還元性向：30%を目標としており、
業績予想の上方修正と合わせ、配当予想も修正**

2020.3月期

2021.3月期
(予想)

期末配当

23円/株

24円/株

総還元性向

25.1%

30.5%

Appendix

(再掲)

2020年5月12日公表

新中期経営計画について

新型コロナウイルス感染症拡大による今後の事業への影響も踏まえ、現時点で中期経営計画の公表日は未定です。詳細が明らかになり次第、速やかに公表いたします。また、中期経営計画の期間については、公表時期によって、最終年度を2023年3月期とするか、2024年3月期とするかを決定する予定です。

「新中期経営計画の考え方」について次頁以降をご参照ください。

課題
競争激化、技術の進化、働き方改革、就業人口減少等の環境変化への対応
営業利益率が3%と横ばい推移
規模拡大に向けたM&A戦略により、財務レバレッジが高水準
国内における求職者の確保における課題
長期展望から、新たなビジネスモデル創出の必要性
規模拡大により、ビジネスモデルが異なる子会社が増加し、全社戦略が希薄化
サステナビリティ課題（ESG/SDGs）への取り組み
新型コロナウイルス感染症拡大への対応

次期中計に向けた方針
国内は、「雇用機会の拡大」から「成長機会の拡大」へ戦略的にシフト、外国人労働者にもフォーカス 海外は、「雇用機会の拡大」の戦略を継続
営業利益率の向上
財務目標を設定する
国内人材分野は、「Chance-Making Company」をビジョンとしたワンブランド戦略に移行（先行実施）
長期的視点で新たなビジネスモデルを創出
事業ポートフォリオマネジメントの見直しにより、事業セグメントを括り直し、全社戦略の強化を図る
基本方針、取り組み課題、目標等を新中計期間にて設定
状況を見極めながら機動的に対応

WORK SHIFT戦略*による高収益体質化

*WORK SHIFT戦略:事業と働き方をSHIFTし、営業利益率を高める

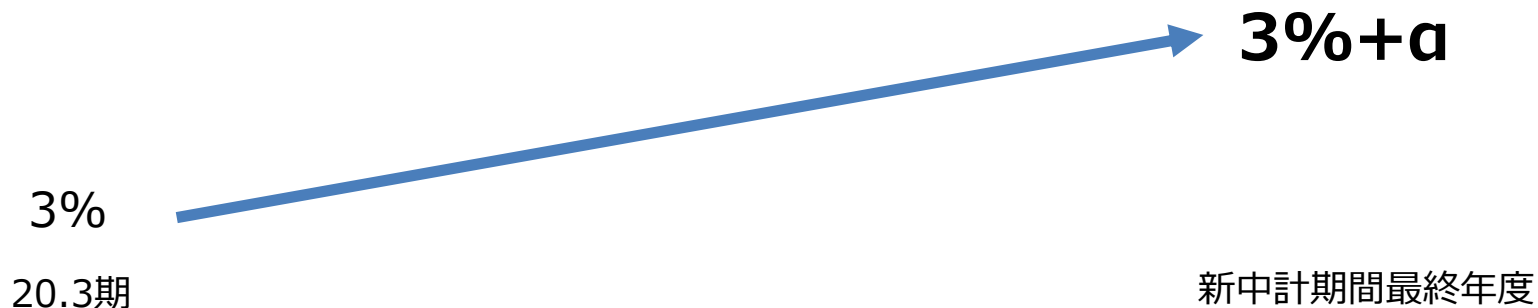
(事業SHIFT)

Portfolio Shift (国内) Perm SHIFTによる成長機会の最大化・最適化
Perm:人材紹介、専門性の高い領域への人材派遣
(海外) Temp SHIFTによる雇用機会の最大化・最適化
Temp:人材派遣、業務請負

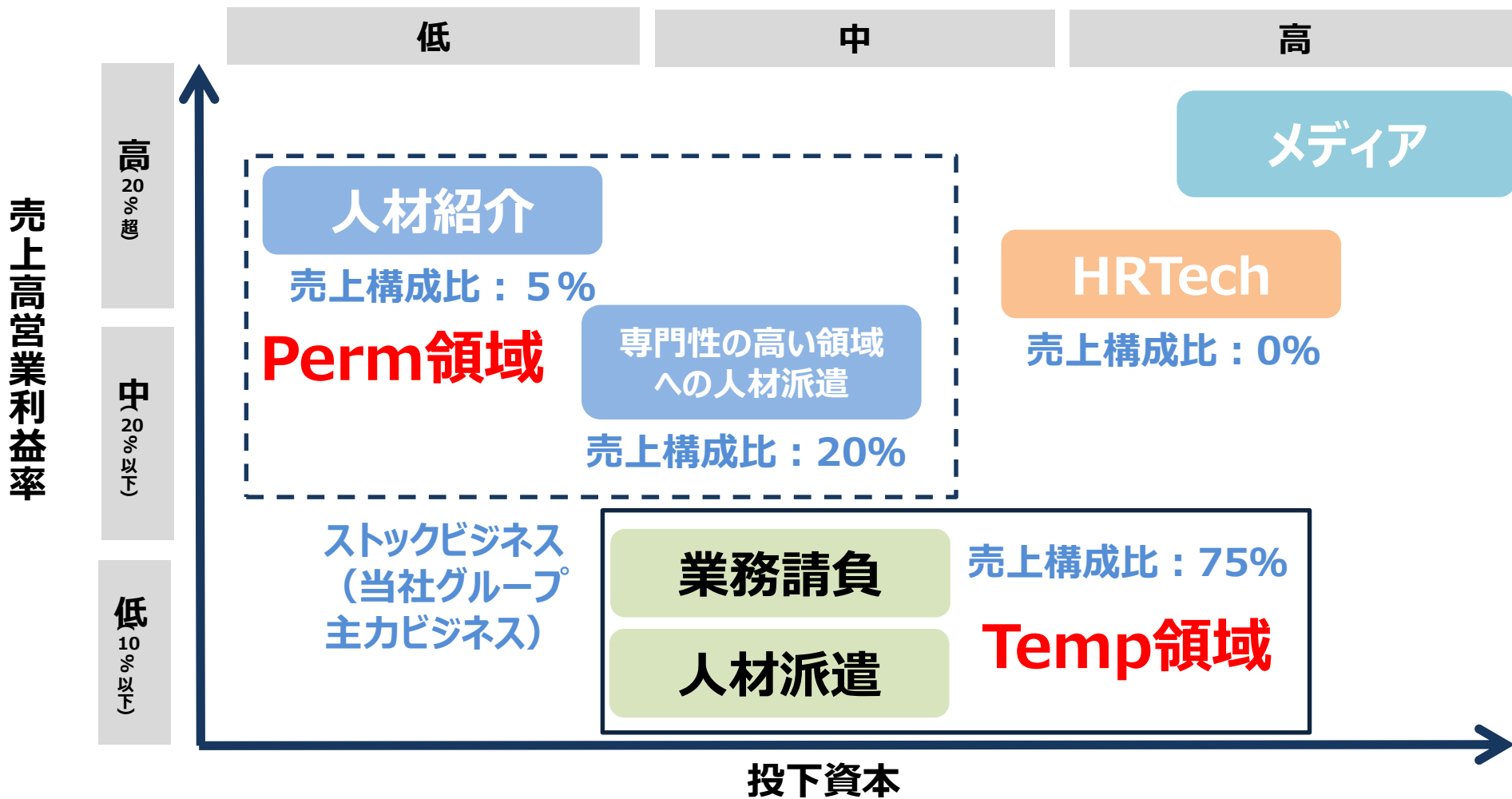
(働き方SHIFT)

Digital Shift (国内) Temp領域の生産性向上

■ 営業利益率見通し



Perm領域を拡大することで、営業利益率は向上



戦略Ⅰ

Perm SHIFTによる収益性の改善

国内WORK事業

戦略Ⅱ

Temp領域のDigital SHIFTによる収益性の改善

国内WORK事業

戦略Ⅲ

Temp SHIFTによる安定性の向上

海外WORK事業

戦略Ⅳ

労働集約型のビジネスから脱却したプラットフォーム構築

その他の事業

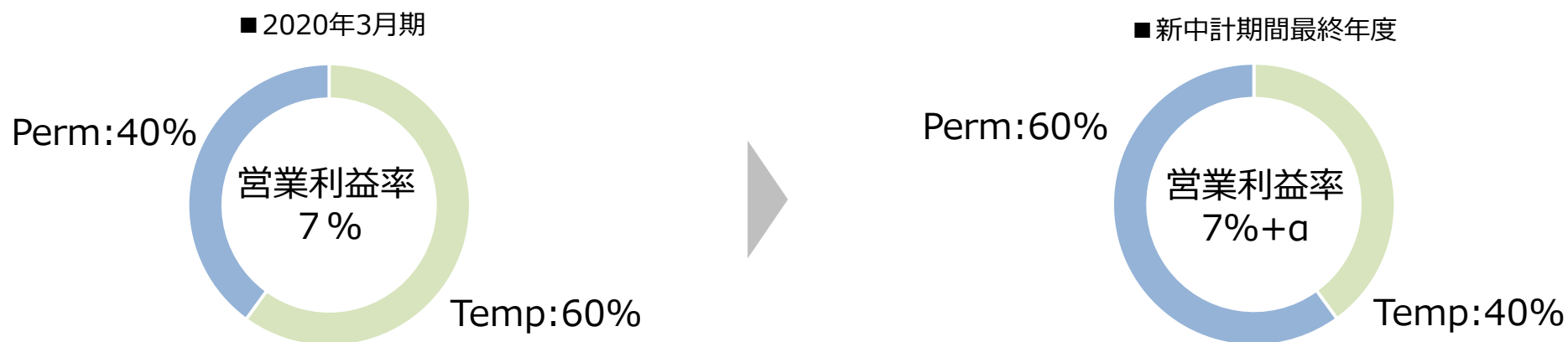
戦略Ⅴ

財務戦略

グループ全体

人手不足が常態化している介護、保育の領域における人材紹介、専門性の高い領域への人材派遣を拡大

- 国内WORK事業 事業ポートフォリオ(粗利ベース)-



■ 人材紹介(介護、保育)

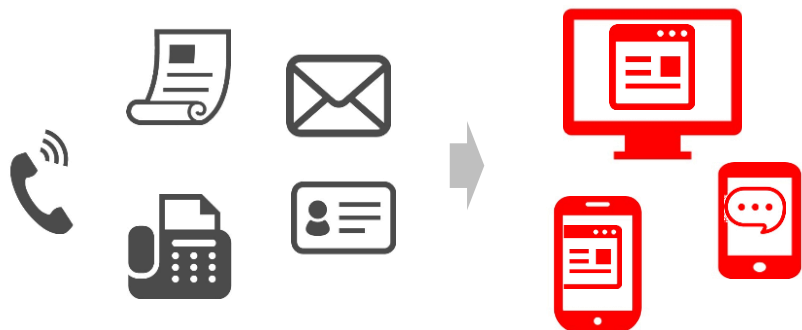
資格が必要な介護、保育の領域を積極的に拡大

■ 専門性の高い領域への人材派遣

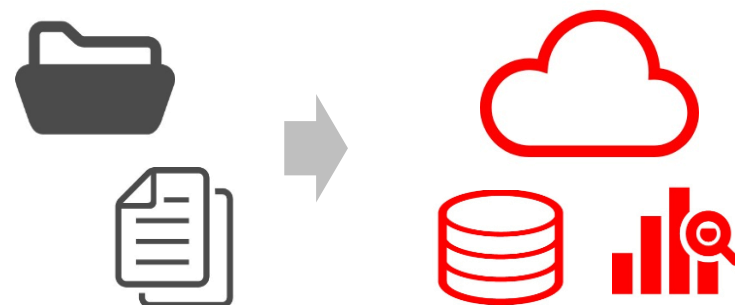
ITエンジニア、建設技術者等、BtoBの営業代行等、需要は引き続き堅調で推移する見通しであり、積極的に拡大

Digital SHIFTにより、1人当たりの生産性を高める

業務のオンライン化・自動化による効率化



データの一元管理・分析による効率化

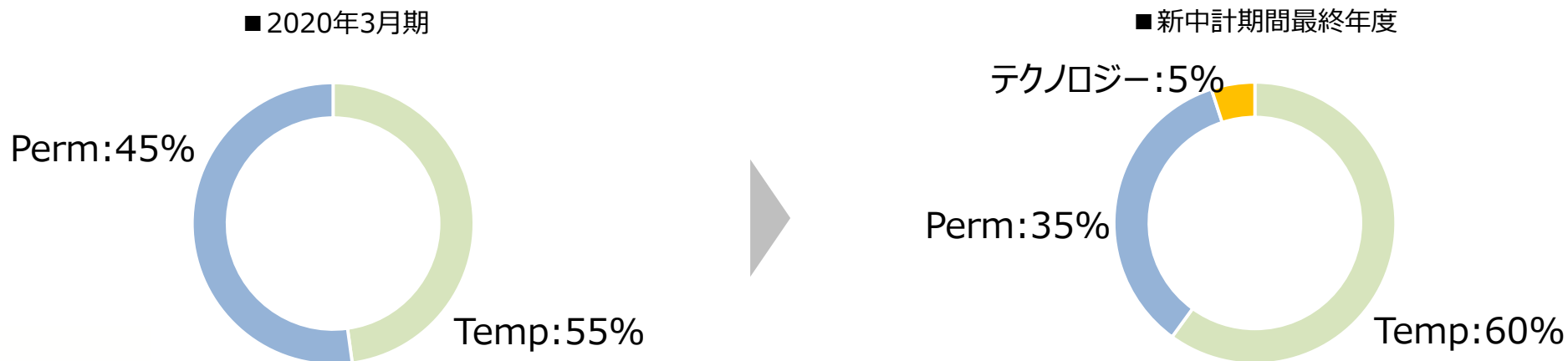


テレワーク・面談のオンライン化による効率化

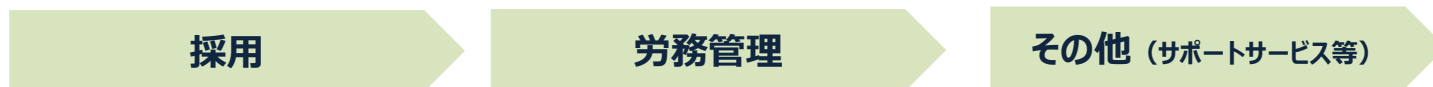


安定した収益基盤を構築するために、ボラティリティの低いTemp領域を拡大する
また、新たに海外のグループブランドを作り、シナジーを強化

- 海外WORK事業 事業ポートフォリオ(粗利ベース)-



労働集約型のストックビジネスからの脱却を目指し、トライ&エラーを繰り返しながら、新たなプラットフォームの開発強化



B to B

企業

B to C

外国人



*アルバイト求人メディア「Joboty」は採算性の観点から2020年3月でサービス終了

資本効率

ROIC
20%以上

- 収益率の改善と資本効率の向上でROIC20%以上を目指す (20.3期実績 : 14%)
当社のWACCは7%-9%程度と認識

財務健全性

自己資本比率
20%以上

- 将来の成長投資や財務体質強化に向け、自己資本比率20%以上を目指す
(20.3期実績 : 11.7%)

株主還元

総還元性向
30%以上

- 成長投資を確保しつつ、利益還元の充実を図るため、総還元性向:30%とし安定的な株主還元を維持する



WILL GROUP

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社 ウィルグループ 財務部

TEL : 03-6859-8880

当社グループは、“ハイブリッド派遣”が特徴で、国内外で人材派遣、業務請負及び人材紹介事業を展開

事業内容

セールス分野、コールセンター分野、ファクトリー分野、介護ビジネス分野など、カテゴリ特化型の人材サービス（人材派遣、業務請負、人材紹介）を主とする人材ビジネスを国内17社、海外30社で展開しています。

特徴

高い成長率を誇る人材派遣
・業務請負・人材紹介の主要プレーヤー

- ・持続的成長を続ける既存事業
- ・高い参入障壁を築く「ハイブリッド派遣」モデルと外国人労働者の派遣
- ・積極的な新規領域への投資

設立年

2006年（創業：1997年）

主要 連結財務数値

(2020.3月期)
売上収益 1,219億円
営業利益 41.4億円

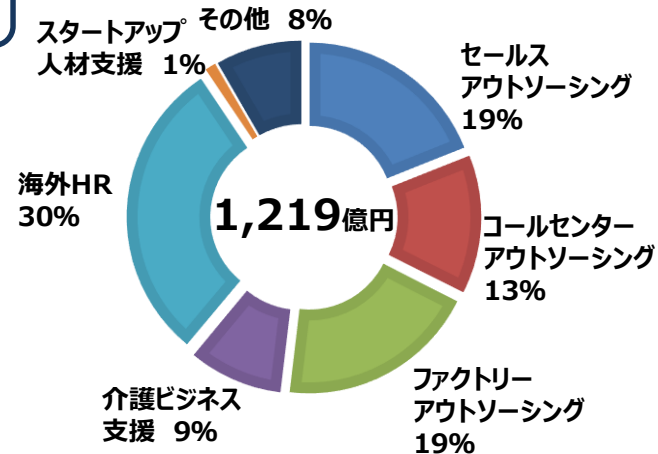
本 グループ会社数

本社：東京
グループ会社数：51社（国内18社、海外33社）
*海外：オーストラリア、シンガポール、マレーシア、ミャンマー等

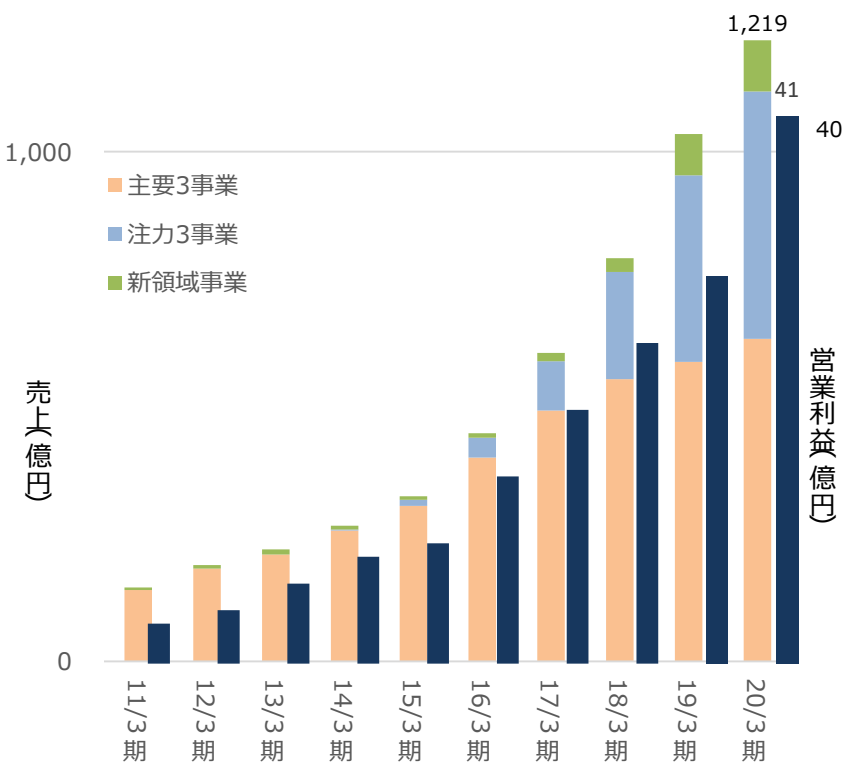
連結従業員数 (2020年9月末)

4,762名

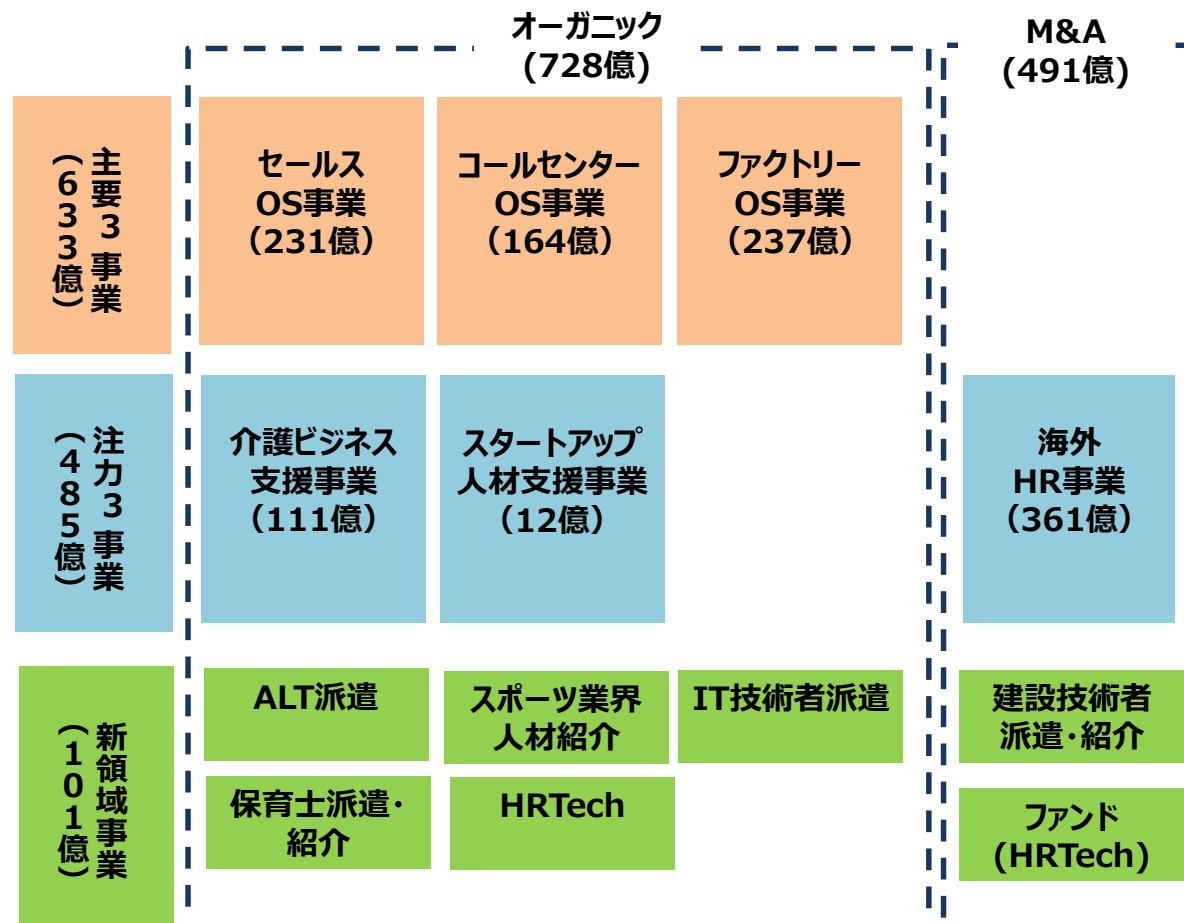
セグメント別 売上高構成比



10期連続増収・増益



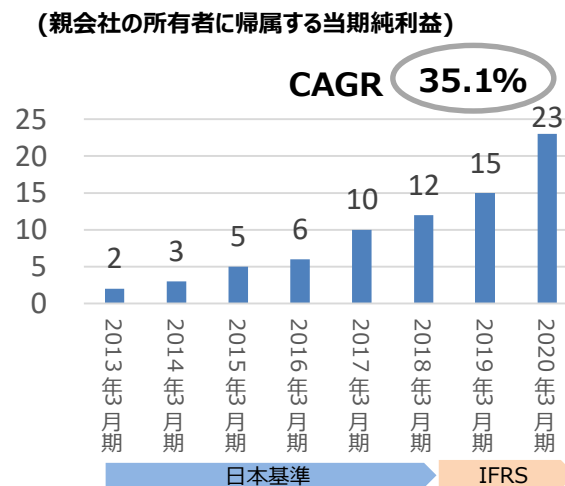
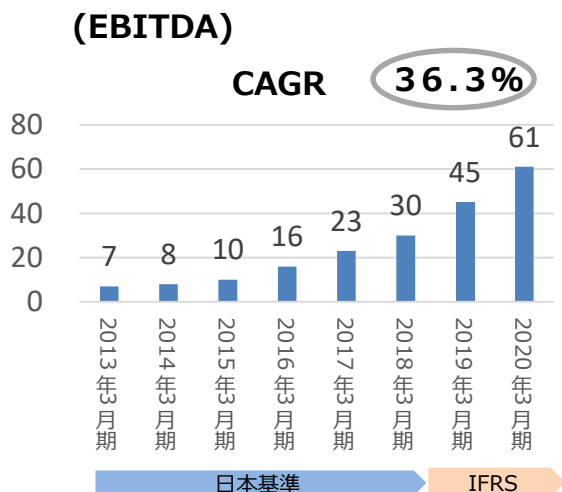
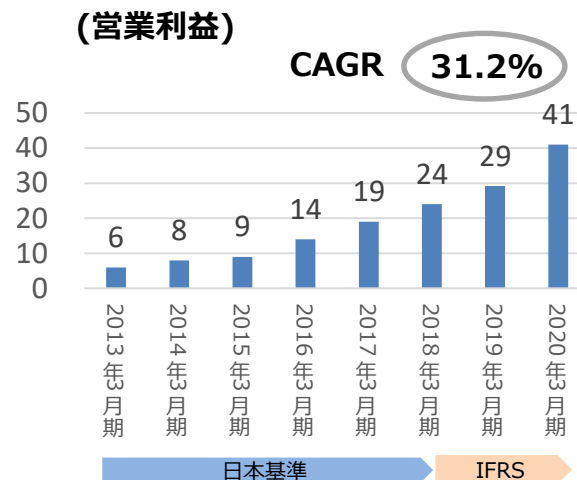
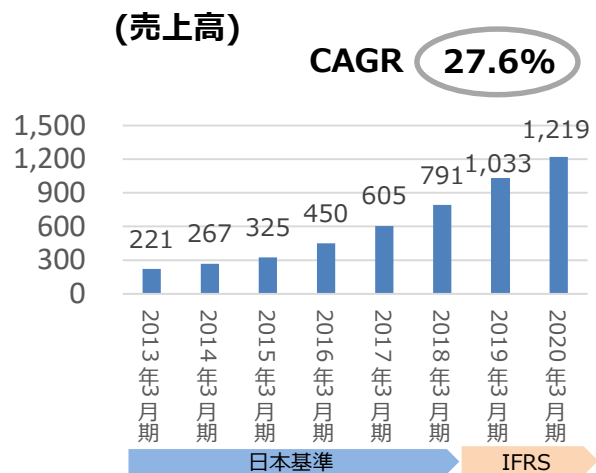
主要3事業の伸びに加え、注力3事業、M&Aが成長に大きく寄与



日本基準

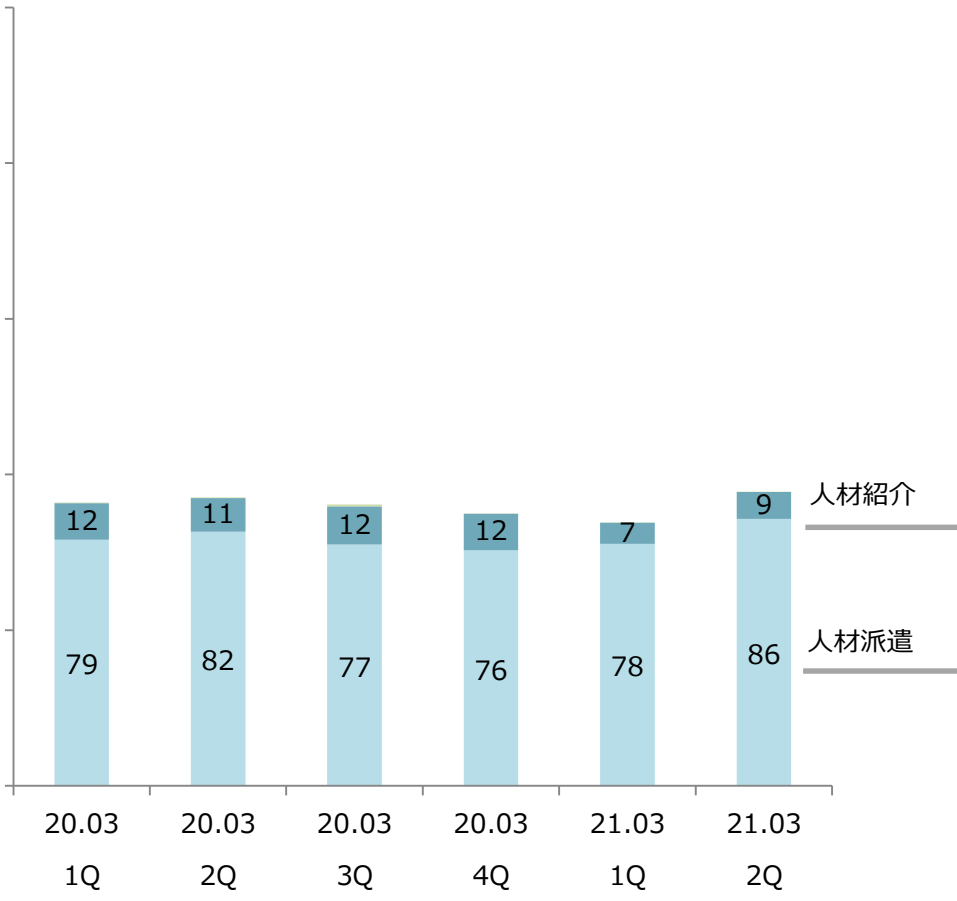
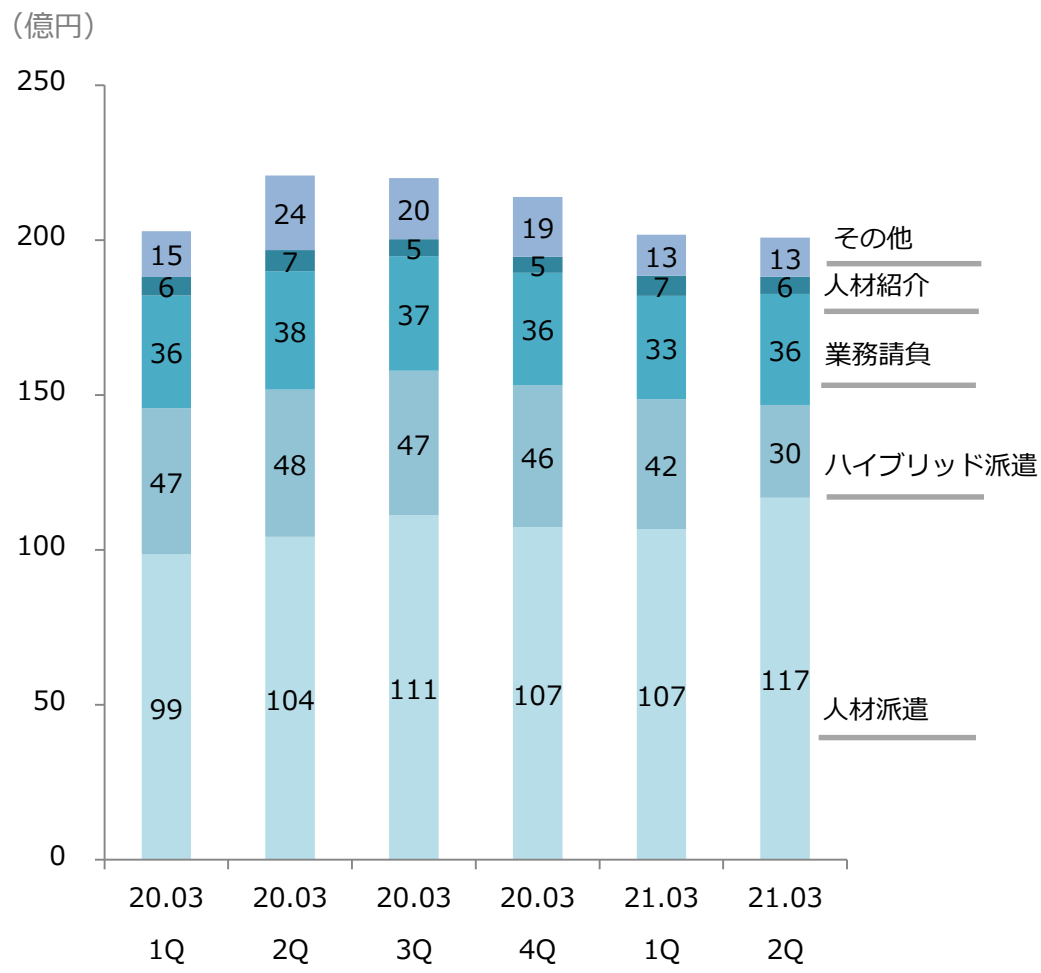
IFRS

主要財務指標推移(億円)



国内人材サービス

海外人材サービス



	日本基準	日本基準	日本基準	日本基準	IFRS	IFRS
(億円)	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
連結貸借対照表						
総資産	123.4	173.0	280.9	342.1	433.9	446.0
流動資産	104.4	143.6	223.4	231.6	225.3	220.4
非流動資産	18.9	29.3	57.4	110.5	208.6	225.5
うちのれん	8.9	14.1	17.4	47.3	53.2	56.5
負債	80.9	122.8	182.3	262.4	381.7	374.7
流動負債	71.3	99.5	155.4	180.2	210.8	215.6
非流動負債	9.6	23.3	26.9	82.2	170.9	159.0
資本	42.5	50.1	98.6	79.6	52.2	71.2
親会社の所有者に帰属 する持ち分合計	35.9	40.7	84.0	71.2	41.9	52.3
評価・換算差額等	0.4	0.6	0.1	△0.3	-	-
非支配持分	6.0	8.7	14.3	8.8	10.2	18.9
自己資本比率	29.2%	23.3%	29.4%	20.1%	9.7%	11.7%
ネットDEレシオ	△0.4倍	0.1倍	△0.3倍	0.6倍	1.1倍	0.7倍

(億円、円)	日本基準	日本基準	日本基準	日本基準	IFRS	IFRS
	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
連結P/L						
売上高	450.2	605.9	791.9	1036.0	1033.0	1,219.1
売上高成長率	38.2%	34.6%	30.7%	30.8%	30.3%	18.0%
売上総利益	87.4	117.7	160.5	203.3	203.0	254.0
売上総利益率	19.4%	19.4%	20.3%	19.6%	19.7%	20.8%
EBITDA	16.8	23.7	30.4	36.6	45.7	61.3
EBITDAマージン	3.8%	3.9%	3.8%	3.5%	4.4%	5.0%
営業利益	14.2	19.6	24.2	25.4	29.5	41.4
営業利益率	3.2%	3.2%	3.1%	2.5%	2.9%	3.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6.9	10.1	12.2	12.3	15.3	23.8
1株当たり当期利益	36.38	54.23	58.04	55.58	69.46	107.0
ROIC	18.9%	18.1%	13.0%	8.2%	8.2%	13.9%
連結C/F						
営業C/F	4.5	0.3	35.0	20.7	28.0	49.9
投資C/F	△12.0	△15.7	△20.9	△57.1	△56.3	△30.3
財務C/F	10.8	24.4	39.7	13.7	5.6	△27.2
フリーC/F	△7.4	△15.3	14.0	△36.3	△28.3	19.6

		事業セグメント		業種
	株式会社ウィルオブ・ワーク	セールスOS事業 コールセンターOS事業	介護ビジネス支援事業 その他の事業(保育、IT)	人材派遣 業務請負 人材紹介 その他 通信、アパレル コールセンター 介護施設 保育施設 等
	株式会社ウィルオブ・ファクトリー	ファクトリーOS事業		人材派遣 業務請負 人材紹介 食品製造業 その他製造業 物流業 等
	フォースタートアップス株式会社	スタートアップ人材支援事業		人材紹介 IoT、インターネット 等
M&A	株式会社ウィルオブ・コンストラクション	その他(建設技術者)		人材派遣 建設業(施工管理)
M&A	DFP Recruitment Holdings Pty Ltd (オーストラリア)	海外HR事業		人材派遣 政府機関 通信業界 等
M&A	Ethos Beathchapman Australia Pty Ltd (オーストラリア)	海外HR事業		人材派遣 政府機関 ヘルスケア業界 等
M&A	BeathChapman Pte. Ltd. (シンガポール)	海外HR事業		人材紹介 金融業界 等
M&A	The Chapman Consulting Pte. Ltd. (シンガポール)	海外HR事業		人材紹介 HR領域 等
M&A	u&u Holdings Pty Ltd (オーストラリア)	海外HR事業		人材派遣 政府機関 大手企業 等